

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 2年 11月 16日

公表: 令和 3年 1月 26日

事業所名 ぶどうのプール

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--|--|----|-------------------------|---|----------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 6 | 1 | 個別で対応できるスペースを設置・対応している。 | |
| | 2 職員の配置数は適切である | 6 | 1 | 毎月コンプライアンス委員会を開催し、職員配置を実施している。 | |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 1 | 6 | | 玄関・トイレ前に段差がある。今後検討する必要がある。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 1 | 6 | | |
| 業務改善 | 5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 6 | 1 | ケース検討等実施し、振り返り等積極的に改善に努めている。 | |
| | 6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 7 | | 要望を協議し改善できるようにしている。 | |
| | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 7 | | ホームページで公開している。 | |
| | 8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 7 | | 会議等に参加している。 | |
| | 9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 7 | | 研修委員会を設置し、年間を通して研修を実施している。 | |
| 適切な支援の提供 | 10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 7 | | サービス計画書や保護者と協議しながら課題に応じた支援ができるように計画書に反映させている。 | |
| | 11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 7 | | 独自の記録を活用している。 | |
| | 12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 7 | | 子どもの障害の程度等に応じて計画書を立てている | |
| | 13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 7 | | | |
| | 14 活動プログラムの立案をチームで行っている | 7 | | チームで検討・実施まで計画を立て実施している。 | |
| | 15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 7 | | 毎月プログラムを作成・実施している。保護者への配信も実施している。 | |
| | 16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | 7 | | 子どもの障害の程度等に応じて計画書を立てている | |
| | 17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 6 | 1 | 申し送りを行い情報共有等に努めている。 | |
| | 18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 6 | 1 | 申し送りを行い情報共有等に努めている。 | |
| | 19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 7 | | 決められた書式で記録を取り、計画書等に反映している。 | |
| 20 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 7 | | 会議等で見直しの必要性等話し合いに努めている。 | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|------------------------------------|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 7 | | 主に責任者が参加している。 | |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 6 | 1 | 適時、関係機関と連携に努めている。 | |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | | | 在籍していない。 | 在籍児童はいないが、医療的アセスメントなどの書式など、必要になった際の準備も今後検討する必要がある。 |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | | | 在籍していない。 | 在籍児童はいないが、医療的アセスメントなどの書式など、必要になった際の準備も今後検討する必要がある。 |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 3 | 4 | | ケースによっては実施することもあるが、保護者との情報収集が主である。小学校に上がる予定の児童などを対象に今後検討していく。 |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 3 | 4 | | ケースによっては実施することもあるが、保護者との情報収集が主である。小学校に上がる予定の児童などを対象に今後検討していく。 |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 4 | 3 | | コロナの影響もあり今年の研修は実施できていない。落ち着いた状況になれば今後検討していく。 |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | | 7 | | 今後検討していく。 |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | 3 | 4 | 定期的に参加をしている。 | |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 5 | 1 | 送迎時もしくは電話等で保護者と共有をしている。 | |
| 保護者への説明責任等 | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | | 7 | | 今後検討していく。 |
| | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 7 | | 契約時にお伝えをしている。 | |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 7 | | 適時支援内容等の確認を行い保護者からの同意を受け対応に努めています。 | |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 5 | 2 | 送迎時もしくは電話等で保護者と共有をしている。 | |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 6 | 1 | | コロナの影響もあり今年には実施できていない。落ち着いた状況になれば今後検討していく。 |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 7 | | 日時を設定し保護者からの申し入れの際は対応できるように努めています。 | |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 7 | | 年に数回広報を発行し発信している。 | |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | 7 | | 個別情報は決められたところに管理している。 | |
| | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 7 | | メールやラインを活用し伝達に努めている。 | |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | 7 | | コロナの影響もあり今年には実施できていない。落ち着いた状況になれば今後検討していく。 |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|--|--|
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 7 | | フロアにマニュアルを設置し情報共有している。保護者へも案内等で周知に努めている。 | |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 7 | | 年2回実施している。 | |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | | | 処方箋等で確認をし対応に努めています。 | |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 7 | | 年に1回申告書を保護者へ配布し対応している。 | |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 7 | | 振り返りの報告時にあつた出来事などを記録として残すように努めている。 | |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 6 | 1 | 虐待防止委員会を毎月開催し、研修や情報共有対策等に努めている。 | |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 6 | 1 | 保護者への事前説明と、同意を得て計画書へ記載している。 | |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。